

Tibetan Buddhism Singing Bowl 『シンギング ボウル』

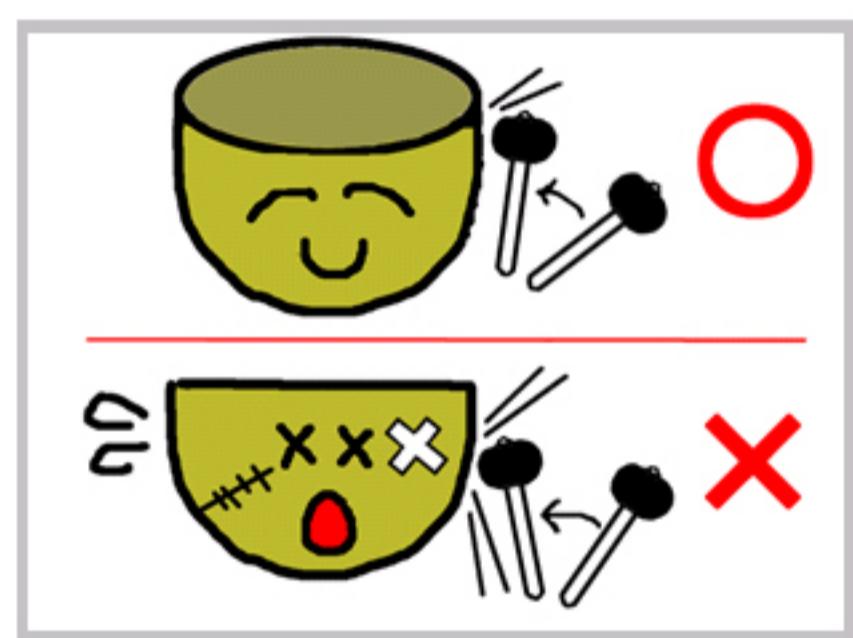
ネパール直輸入！ 今、注目の癒し楽器☆

お手軽 演奏♪ 歌うボウル?

ボウルのフチ(外回り)を、棒で何周も擦ると、
倍音が響いてきて、脳にリラックス効果♪



大きなものは体に当てがい、バチで叩いて振動でマッサージ。（※自己責任！）



※ボウルをガツシリ掴んだり、載(の)せた手の平がべったり密着してると音が出ません。

※横つ腹を叩くとダメージ！
フチの脇(わき)を叩きましょう。

チベット仏教のリン。400~430(?)ヘルツで#シャープや↑フラットが強すぎない(?)と良いそう。欧米では医療用として使われ、保険がきく国もあるとか。ドイツでは保育園に置いてるそう。

ポイント① ボウルは手から落ちない(摩擦)程度で保持。② リン棒を しっかり持ち、フチを外側からグルグルと強くこする。③ ボウルを傾け、動く棒に あてがう。④ 鳴り始めても速度を上げない。

金属製のものは基本 2種類。手打ち成形と鋳物。前者は丸い金属板を熱して柔らかくしてハンマーで叩き、冷めたらまた熱して、段々と器状に…。後者はタイヤキみたく、溶かした金属を型に流しこむ。

手打ちは 厚み・サイズ次第では 数枚を重ねて製造。厚い小型や 薄い大型は 製造が困難。一枚打ちの特大は、水を溜めて中に立ち、バチで鳴らしてもらうとマッサージ効果。（※妊婦や人工関節の方は×）
金属の使用量・配合順で倍音の長さも変化。金・銀・水銀（＊）・銅・錫（スズ）・鉛（＊）・鉄が材料の7メタル、金銀無しの5メタルが有名。金は太陽、銀は月…など、金属を太陽系の惑星に見立ててるそう。

7メタルに使う金銀の量はホンの僅か。でもヤハリ音色が違います。錫(スズ)も意外と高価。新品の金属を使った7メタルや、その銀の使用量を2%に増やした超々高級品は、見た目もキレイで音も良し。

中古の金属を材料にすると音質が不安定ですが、運次第(材料 次第)では、お買い得♪(闇ナベ?)

余談 其の壱：亡命中のダライ・ラマさんの村の一流職人作は、1個で数百万円だとか。（お布施？）

余談 其の式:満月の日には、重力などが影響して良いボウルが出来るそうで、まとめて作ったりも。